



選 択 問 題 紙

経営学部 1 部（経営情報学科）

法学部 1 ・ 2 部

2023 年 2 月 11 日

10 : 00 ～ 11 : 00（60分）

注 意 事 項

—— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 ——

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

問題のページと解答用紙の色を下表で確認すること。

選択問題	ページ	解答用紙
日 本 史 B	2 ～ 8	水 色
世 界 史 B	10 ～ 15	緑 色
地 理 B	16 ～ 25	紫 色
政 治・経 済	26 ～ 35	桃 色
数 学	36 ～ 38	黄 色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。

3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。

4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。

試験終了まで退室してはいけない。

5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

—— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。 ——

6. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

問題 **1**，**2** は必須で，問題 **3**，**4**，**5** については，これらの中から 1 問を選択し，解答用紙の ☐ の中に選択した問題の番号を記入すること。

世界史B

1

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

前272年、ローマは南イタリアのギリシア人諸都市を征服してイタリア半島を統一した。ローマは征服した諸都市に対し、市民権の有無など権利や義務に格差のある関係を個別に結んで（ 1 ）を行い、諸都市が結束してローマに反抗することを防いだ。

イタリア半島を支配したローマは、さらに西地中海域の覇権をめぐってフェニキア人の植民市カルタゴと対立し、ポエニ戦争を引き起こした。ローマは、カルタゴの名将（ 2 ）にカンネーの戦いで大敗したがもちこたえ、その後ローマの将軍（ 3 ）がザマの戦いで（ 2 ）をうち破った。そして前146年にはカルタゴを滅亡させた。また同年、ローマはギリシア全土を征服し支配下においた。こうしてローマは地中海世界の大部分を支配するまでになった。

しかし、急速な領土の拡大はローマ社会を変質させた。ローマはイタリア半島以外の海外領土を（ 4 ）とし直轄支配を行ったが、そこに赴任する総督や騎士身分の徴税請負人は赴任地での収奪によって巨額の利益を上げた。そしてその利益で土地を購入し、戦争によって得た奴隷を大量に使役して、オリーブ・ぶどう・小麦などの商品作物を栽培させる（ 5 ）を行った。その一方で、（ 6 ）として戦った中小農民は長期にわたる戦争で疲れ、農地も荒廃して没落し、（ 7 ）となって首都ローマに流入した。有力者は彼らに小麦や剣闘士競技などの娯楽を提供して支持基盤としていった。

共和政の下で軍隊の担い手であった中小農民の没落に危機感を抱いたグラックス兄弟は、あいついで（ 8 ）に就任すると改革を試みたが、貴族らの反対にあい改革は挫折した。

軍事力が弱体化するなかで、前107年執政官になったマリウスは、（ 7 ）から志願者を募り武装させて職業軍人とする軍制改革を行った。これ以後、ローマ市民の軍隊は有力な将軍の私兵としての性格が強くなり、軍事力で政権を奪おうとする者が続出した。

その間、イタリア半島の同盟諸都市が戦争を起こしたり、大規模な奴隷反乱などがあいついで混乱が続いた。

このようななか、共和政の機能不全を見抜き、広大な領土の統治にふさわしい政体への変革をめざしたのが（ 9 ）である。（ 9 ）は、有力な将軍であった（ 10 ）やクラッススとひそかに手を結び三頭政治を実現した。その後、ガリア遠征で富を蓄え、クラッスス亡きあとは、元老院と手を結んだ（ 10 ）を倒し、民衆の人気を背景に独裁政権を樹立した。（ 9 ）は元老院を無視して改革を行ったため、前44年、共和政に固執する元老院保守派のブルトゥスらによって暗殺された。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。ただし、（ 1 ）、（ 6 ）、（ 7 ）はそれぞれ漢字4字で答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、イタリア半島を統一するまでのローマについての記述として適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 前8世紀中ごろからエトルリア人がテヴェレ川周辺に定住し、都市国家を形成した。
- イ. ローマからイタリア半島北部のブルンディシウムを結ぶ軍用道路アッピア街道が整備された。
- ウ. 元老院は300人のプレブスから構成されていた。
- エ. ホルテンシウス法によって、平民会の決議が貴族をも拘束する国法とされることが認められた。

問3 下線部(b)に関連して、フェニキア人についての記述として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. フェニキア人は自分たちのことをアラム人と称した。
- イ. フェニキア人はレバノン山脈から良質の杉を大量に切り出して船を造ったり、貿易品としたりしたが、それは環境破壊のはじまりだといわれている。
- ウ. フェニキア人が作った文字はギリシア文字やラテン文字などヨーロッパ各地の文字の原型となった。
- エ. フェニキア人は地中海東岸のシドンやティルスなどを拠点として交易を行った。

問4 下線部(c)に関連して、このように無料で提供された穀物や娯楽のことを一般に何と呼ぶか、答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、グラックス兄弟が行った改革についての記述として適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 貴族と平民との通婚を禁じようとした。
- イ. 貴族による土地の占有を制限し、貧しい市民に分配しようとした。
- ウ. 債務の帳消しを行い、債務によって奴隷とされることを禁じようとした。
- エ. 執政官や法廷の陪審員を全市民のなかから抽選で選ばれるようにした。

問6 下線部(e)に関連して、ガリアとは現代のどこをさすか、ほぼ一致するものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. スペイン イ. イギリス ウ. フランス エ. ルーマニア

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

中国では、漢（後漢）の滅亡から3世紀半あまり、長い分裂の時代^(a)が続いたが、北朝からでた隋の（ 1 ）が589年にふたたび統一を果たした。（ 1 ）は、北朝の政策をうけついで律令を定め、土地制度では一定の土地を農民に割り当てる（ 2 ）制を、軍の制度では農民を兵士とする（ 3 ）制を行うなど、支配の強化をつとめた。また、北魏で行われていた推薦制の官吏登用制度である（ 4 ）をやめ、新たに学科試験によって官吏となる人材を登用した。この制度は以後各王朝にうけつがれて（ 5 ）とよばれ、20世紀はじめまで行われた。（ 5 ）は、皇帝が官僚を使って全国を支配するしくみを支えるとともに、中国^(b)の学問や文化のあり方にも大きな影響を与えた。

また、第2代皇帝の（ 6 ）は、政治や軍事の中心地である華北と、物資の豊かな江南を結ぶ経済の大動脈として、（ 7 ）を完成させた。これも、その後の各王朝が改修を重ね、輸送の幹線として活用した。しかし、これらの大土木事業や、3回にわたる（ A ）遠征は、人々を苦しめた。やがて国内各地に反乱がおきて（ 6 ）は殺され、隋は統一後わずか30年で滅びた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 7 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 文中の空欄（ A ）にあてはまる王朝を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 新羅 イ. 高句麗 ウ. 百済 エ. 伽耶（加羅）

問3 下線部(a)に関連して、中国で王朝が分立していたこの頃には、北方や西方の諸民族が進出し、華北の各地に小王朝が次々と成立した。これらの総称を漢字5字で答えよ。

問4 下線部(b)に関連して、宋の時代になると、官吏登用試験に合格するために儒学を修めた知識人たちが、政治的・社会的指導者の地位を占めるようになった。彼らは何と呼ばれたか、漢字3字で答えよ。

3

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

ロシアでは、16世紀にモスクワ大公国の（ 1 ）が貴族をおさえて専制政治の基礎を固め、農民の移動を禁じて農奴制を強化し、全ロシアの君主として正式にツァーリの称号を用いた。彼は領土を南ロシアに広げ、コサックの隊長イエルマークの協力を得てシベリアにも領土を広げた。彼の死後は内紛が続いたが、1613年に中小の領主や商人たちの支持を得た（ 2 ）が即位し、専制支配と農奴制を強化した。

1682年に即位した（ 3 ）は、不凍港を求めてスウェーデンとの間で1700年から1721年にかけて北方戦争（大北方戦争）を戦い、バルト海へ進出してペテルブルクを建設し、ここに首都を移した。また、南はアゾフ海へ進出した。東は1689年に清とネルチンスク条約を結んで国境を定め、清との通商を開いた。

1762年に即位した（ 4 ）は啓蒙専制君主として知られるが、1773年から起こった（ 5 ）の農民反乱後は貴族の特権を認め、農奴制を強化した。領土の拡大にも努め、ポーランド分割に参加し、南はクリミア半島やバルカン半島へ進出した。東はアラスカ・千島・オホーツク海方面に進出し、日本に陸軍軍人（ 6 ）を派遣して通商を求めた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 4 ）にあてはまるロシアの君主の名を、次のア～クからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- ア. アレクセイ イ. イヴァン4世 ウ. ヴァシーリー3世
エ. エカチェリーナ2世 オ. ピョートル1世 カ. ボリス=ゴドゥノフ
キ. ミハイル=ロマノフ ク. フョードル3世

問2 文中の空欄（ 5 ）、（ 6 ）に当てはまる人物名を答えよ。

問3 下線部(a)の説明として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 南ロシアや現在のウクライナの地に移住した逃亡農民を中心とする独立性の強い軍事的共同体
イ. シベリアから東ヨーロッパにかけて居住したテュルク系諸民族
ウ. 現在のウクライナの地を中心に活動したイラン系遊牧騎馬民族
エ. 12世紀以降にロシア北西部の白海沿いに移住したスラヴ系民族

問4 下線部(b)に関連して、1783年にロシアがクリム=ハン国を併合して獲得した不凍港で、クリミア戦争と第二次世界大戦では要塞化されたがいずれも陥落、ソ連解体後ウクライナ領となったが、2014年にロシアが実効支配した港湾都市名を答えよ。

問5 下線部(c)に関連して、ロシアと北方同盟を結んで1700年の開戦時にスウェーデンを攻撃した国を、次のア～クから2つ選び、記号で答えよ（順不同）。

- ア. ポーランド イ. イギリス ウ. プロイセン エ. フランス
オ. オスマン帝国 カ. オーストリア キ. スペイン ク. デンマーク



問 6 下線部 (d) に関連して、アゾフ海は陸地と陸地との間に挟まれた内海であるが、これと隣接し海峡で結ばれている海を、次の ア～エ から 1 つ選び、記号で答えよ。

ア. バレンツ海 イ. 黒海 ウ. 白海 エ. 地中海

問 7 下線部 (e) に関連して、① ネルチンスク条約では未確定であった外モンゴル方面の国境を画定した 1727 年の条約、② 黒竜江左岸をロシア領、ウスリー川以東をロシアと清の共同管理地とした 1858 年の条約の名称を答えよ。

問 8 下線部 (f) に関連して、1772 年の第一次ポーランド分割でロシアとともにポーランドの領土分割に参加した国を、次の ア～ク から 2 つ選び、記号で答えよ（順不同）。

ア. スウェーデン イ. イギリス ウ. プロイセン エ. フランス
オ. オスマン帝国 カ. オーストリア キ. スペイン ク. デンマーク

4

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

1866年にドイツ統一の主導権をめぐる（ 1 ）との戦争に敗れたオーストリアは、翌年ハンガリーに自治権を与え、オーストリア=ハンガリー帝国として再編された。中・東欧にまたがる帝国は、多民族帝国として複雑な民族問題を抱えていた。

1870年にローマ教皇領を併合し全土統一を果たしたイタリアは、オーストリア領であるトリエステ・南チロルなどを（ 2 ）と呼び、その獲得を目指した。1908年、オスマン帝国で（ 3 ）がおこると、オーストリアは管理下にあったボスニア=ヘルツェゴヴィナを併合した。この2州の住民は大部分がスラヴ系で、かねてからセルビアが編入を望んでいたことから、併合はスラヴ系民族主義者の強い反発を呼んだ。

1914年6月末、オーストリアの帝位継承者フランツ=フェルディナント夫妻がボスニアの州都（ 4 ）を訪問した際、セルビア人の民族主義者に暗殺され、それが引き金となって第一次世界大戦が勃発した。オーストリアは同盟国であるドイツと共に戦ったが敗れ、1918年11月オーストリア=ハンガリー帝国は崩壊した。第一次世界大戦後の（ 5 ）講和会議では、民族自決のスローガンのもと、オーストリア=ハンガリー帝国からいくつもの新興国が独立した。しかし新興国はいずれも国内に少数民族問題を抱えて国内の政治的まとまりを欠いた。

問1 （ 1 ）～（ 5 ）にあてはまる語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、この時のイタリア王国の国王の名前を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、オーストリア=ハンガリー帝国がボスニア=ヘルツェゴヴィナの管理権を獲得した、1878年に開催された国際会議の名を答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、オーストリア=ハンガリー帝国崩壊時の最後の皇帝を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. ヴィルヘルム2世 イ. フリードリヒ2世 ウ. カール1世 エ. ヨーゼフ2世

問5 下線部(d)に関連して、第一次世界大戦後に新たに独立した国を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. ユーゴスラヴィア イ. ルーマニア ウ. ブルガリア エ. アルバニア

問6 下線部(e)に関連して、1938年にドイツ首相のヒトラーがチェコスロヴァキアに割譲を求めたドイツ人居住地域はどこか答えよ。